

様式5

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和3年10月8日(金) 香川大学 大学本部 3階 第一会議室	
委員	委員長 沼本 國考 (国立大学法人徳島大学施設マネジメント部長) 委員 大平 昇 (弁護士) 委員 大塚 和辰 (公認会計士・税理士)	
審議対象期間	令和2年11月1日～令和3年3月31日	
抽出案件(合計)	4件	(備考)
工事(小計)	3件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼なし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争入札	1件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別紙

意見・質問	回答
<p>(1) 国立大学法人香川大学において発注した建設工事及び建設・コンサルティング業務について（令和2年11月～令和3年3月分） （事務局から説明）</p> <p>・特になし。</p> <p>（抽出案件について個別に審議開始） 抽出案件① 香川大学（医病）放射線治療棟等新営その他機械設備工事 （事務局より説明）</p> <p>・再公告時の入札参加4者の内2者が辞退した理由は。</p> <p>・競争参加資格の地域要件について、どのように設定しているか。</p> <p>・結果として地元企業が契約者になったということか。</p> <p>・再公告となったため当初予定より1カ月遅れたことになる。結果として竣工期限を延ばすことなく工期を1カ月短縮して対応できたことになるが、特に病院事業は運営上竣工期限が重視されるものであることから、随意契約で対応する等、工事の目的を最優先して学内規定上運用できるものを採用していくことも再公告案件については今後考えてほしい。</p>	<p>・予定していた配置予定技術者が、他機関等の受注が決まったことにより配置できなくなったことが辞退の理由として確認されました。</p> <p>・別添資料1 工事契約各種基準金額等一覧の一般競争参加資格等級の設定について説明。</p> <p>はい、そうなります。</p> <p>はい、今後検討します。</p>

<p>抽出案件② 香川大学（医病）ヘリポート給油施設新営その他工事 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者の辞退理由は（結果的には2回目の入札時までには6者の内5者辞退したことになる）。 ・1回目、2回目の入札価格と予定価格が大きく乖離しているが、予定価格の設定に問題はなかったか。 <p>抽出案件③ 香川大学（幸町他）大学会館1階食堂空調設備改修その他工事 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学側は新規受注機会の確保のために参加資格等級を広げる等工夫していると考えられる。 ・低入札価格調査時に業者の経営状況、信用状態を含め問題ないと判断したうえで、履行中の監理を徹底して品質を確保していくことに留意してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の入札時に辞退した3者の理由について、見積や工事費算出時に専門メーカーに調査等をかけましたが、入札価格の算出が困難であったことから辞退となりました。 2回目の入札時に辞退した2者の理由について、1回目の最低入札価格を確認して、2回目の入札に参加するのは難しいと判断したことから辞退となりました。 ・はい、問題ありません。実勢価格を反映しております。 <p>はい、今後取り組んでいきます。</p>
---	---

<p>抽出案件④ 香川大学（鹿角町）屋内運動場設改修設計業務 （事務局より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 者参加していることから競争性はあったと考えられる。県外からの業者も参加しているが地域性は影響あるか。 ・設計業務成績評定点について、評価項目の内「調整及び説明、対応の迅速性」の指標がマイナスとなった理由は。 ・全体の評定点は68.4点だが、それほど悪くないという評価か。 ・落札率がかなり低い、前審議と同じく低入札価格調査は行っていないか。 ・今回の設計業務成績評定は、今後の設計業務の入札にどのような形で反映していくか。 ・建築工事だけではなく設計業務も品質を求められるので、成績評価を基準に業者選定につなげてほしい。 <p>（2）その他 （事務局より説明）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査等をする必要があることからある程度の影響はあるかと考えられます。 ・今回受注された業者は、本学との取引が初めてになりますので、こちらが求めている各種書式等について未経験な部分を指導する時間等を要したため低い評価となっています。 ・はい。 ・はい。予定価格が1,000万以上を対象としていますので行っていません。 ・設計業務の入札においても総合評価落札方式での運用を今後検討する必要があると考えています。設計業務成績評定は、その運用時の評価項目の一つになると考えられます。
---	--

<p>・審議対象契約期間の変更について、審議対象を年度毎で区切ることとします。次回の審議対象は令和3年度分（令和3年4月から令和4年3月まで）とします。また、開催時期を第2四半期とします。</p> <p>・本学に対して入札・契約手続き等に関する再苦情の申立てがあった場合は、委員会を開催することになっておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>・本日の議事概要については、香川大学施設環境部のホームページで速やかに公表することとなっておりますので、よろしくお願ひします。</p>	
--	--